






森林の自然とそのはたらき

目的：森林が持つ自然としての機能、森林が持つ社会的な役割、そうした機能や役割を発揮させる森林管理のしかた等、森林を多面的に理解し、森林環境問題を理解した人材を育成する。




担当教員からのコメント

● 栃木県足尾銅山跡地を視察実習した。受講生の方々の関心の高さに驚いた。経験を社会活動等に役立てていただければと思う。（今泉文寿）

● 土浦市宍塚大池周辺およびつくば山麓小田地域で、里山の自然とその中で生息する動物について、体験的な実習を行った。普段は接触できない社会人の方と一緒に野外観察ができて、自分自身も勉強になった。（門脇正史）

● 土曜日にもかかわらず、朝早くから意気揚々と参加される受講生たちに、まず、元気をもらう。大学構内を歩きながら、要所要所で植物の説明をしようとするが、そんなことにはお構いなく、目前の植物を見て、疑問を見つけ、どんどんと質問してくる。これがたまらない。筑波大学生では到底お目にかかれない光景だ。これは学生のためにもなったに違いない。大人がこんな熱心なのだと知って。（中村　徹）

● 筑波山周辺の森林を見学しながら、植林の方法、その後の森林の手入れの仕方、木材の伐採とその後の更新など、森林管理の実例を見て、その意味を考える実習を行った。（小鹿勝利）



● 日光地区の大谷川上流域の河川管理の現状を中心に見学実習を実施した。（真板秀二）

● 世界の森林資源の動向について図表・写真を交えて概説し、その保全対策について受講生と意見交換をした。（増田美砂）

● 先進国の森林管理の現状について講義と実習を実施した。（志賀和人）

● 熱帯林問題について講義と演習を実施するとともに、遠藤好和技術職員の指導の下で、つくば実験林の竹林から竹材を切り出し、竹炭を作る実習を行った。（餅田治之）